

平成 21 年度犯罪被害類型別継続調査（パネル調査）

【ご記入にあたって】

- 本調査は、内閣府による「平成 21 年度犯罪被害類型別継続調査」の一環として行うものです（アンケートの回収、集計業務については株式会社リベルタス・コンサルティングに委託）。
- 本アンケートは、一昨年度又は昨年度、同様のアンケートにご協力いただいた方を対象としています。
- アンケートは全部で 11 ページあります。最初のページから順番にお答えください。
- 設問によっては、（ ）や□の中に数字や回答のご記入をお願いする部分があります。
- お答えを選択する形式の質問については、特に説明のない限り、お答えが当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。質問ごとに「○は 1 つ」、「○はいくつでも」というように指定がありますので、それぞれ指定した数の○印を該当する選択肢の番号にご記入ください。
- 回答内容は、集合的かつ統計的に処理し、また自由回答については匿名にて取り扱いますので、皆様の個人名が公表されることは一切ございません。
- ご記入いただきましたアンケート票は **12 月 25 日（金）** までに同封の返信用封筒（切手不要）に納め、封をした上でご返送ください。
- 本アンケート調査についてご不明な点、ご質問などがございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

☆お問合せ先

アンケートの内容に関して

株式会社リベルタス・コンサルティング

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-18-2 新橋 NKK ビル 7 階

電話番号：03-5776-2810（月～金 10:00～18:00）

内閣府「平成 21 年度犯罪被害類型別継続調査」係

担当者：飯島、中野



調査研究全体に関して

内閣府 犯罪被害者等施策推進室 担当：富田、重田

電話番号：(03) 3581-1162（月～金 10:00～18:00）

FAX：(03) 3581-0902

- ◆ 昨年もお回答いただきました、あなたご自身またはご家族が平成9年12月から平成19年12月までにあわれた、最も深刻だった犯罪被害についておたずねします。以降の設問は、その犯罪被害についてお答えください。

(ご自身またはご家族がその被害にあわれた方におたずねします。被害にあわれたご家族が亡くなられている方は問1にお進みください。)

- F1 あなたまたはご家族は事件によって身体に全治1か月以上のけがを負いましたか。
被害によって複数の人がけがを負った場合は、最も治療期間の長い人(後遺障害がある場合は最も重い人)をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | ご自身またはご家族が全治1か月以上のけがを負った ⇒ F2にお進みください |
| 2 | ご自身またはご家族が1か月未満のけがを負った ⇒ 次ページにお進みください |
| 3 | ご自身にもご家族にもけがはなかった ⇒ 次ページにお進みください |
| 4 | 忘れた、覚えていない ⇒ 次ページにお進みください |

- F2 (F1で「1 全治1か月以上のけがを負った」に○をつけた方におたずねします。)

そのけがの治療に要した期間はどの程度でしたか。

複数のけがをされた場合には、最も長く治療された期間についてお答えください。現在も治療を続けていらっしゃる方は、これまでの治療期間をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1 | 治療を受け、治療が終了した。治療期間は()年()か月 |
| 2 | 治療を受け、現在も治療している。治療期間は()年()か月 |

- F3 (F2で「1 治療が終了した」と回答された方におたずねします)

そのけがによる後遺障害がありますか。後遺障害の有無をお答えください。また、後遺障害がある場合は、後遺障害の等級(1～14級)についてもお答えください。(○は1つ)

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1 | 後遺障害等級の認定がなされた後遺障害がある ⇒ 後遺障害等級()級 |
| 2 | 後遺障害等級の認定はなされていないが、後遺障害がある |
| 3 | 後遺障害はない |
| 4 | わからない |

◆ あなたの健康状態や精神状態についておたずねします

問1 あなたは過去30日の間に、なんらかの健康上の問題がありましたか。(○は1つ)

1 あった	2 なかった ⇒問4にお進みください
-------	--------------------

問2 (問1で「1 あった」と回答された方におたずねします)

その健康上の問題は、どの程度事件と関係があると思いますか。事件との関係の度合いをお答えください。(○は1つ)

事件が関係している 1	← 2	どちらともいえない 3	→ 4	事件と全く関係がない 5
----------------	--------	----------------	--------	-----------------

問3 (問1で「1 あった」と回答された方におたずねします)

その健康上の問題を、どのように解決しようとしていましたか。(○はいくつでも)

1 医療機関に通った(訪問診療を含む)
2 医療機関には通っていないが、市販の薬を服用、湿布した
3 その他(具体的に:)
4 特に何もしていない

問4 あなたは過去30日の間に、なんらかの精神的な問題や悩みがありましたか。(○は1つ)

1 あった	2 なかった⇒問7にお進みください
-------	-------------------

問5 (問4で「1 あった」と回答された方におたずねします)

その精神的な問題や悩みは、どの程度事件と関係があると思いますか。事件との関係の度合いをお答えください。(○は1つ)

事件が関係している 1	← 2	どちらともいえない 3	→ 4	事件と全く関係がない 5
----------------	--------	----------------	--------	-----------------

問6 (問4で「1 あった」と回答された方におたずねします)

その精神的な問題や悩みを、どのように解決しようとしていましたか。(○はいくつでも)

1 医療機関(精神科以外も含む)に通った(訪問診療を含む)
2 公的機関や民間団体において、カウンセリングを受けたり相談をしたりした
3 自助グループに参加した
4 家族や知人に相談した
5 その他(具体的に:)
6 特に何もしていない

問7 過去30日の間に、どれくらいの頻度で次のことがありましたか。(それぞれ○は1つ)

	全く ない	少し だけ	とき どき	たい てい	いつ も
ア) 神経過敏に感じましたか。	1	2	3	4	5
イ) 絶望的だと感じましたか。	1	2	3	4	5
ウ) そわそわ、落ち着かなく感じましたか。	1	2	3	4	5
エ) 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか。	1	2	3	4	5
オ) 何をするのも骨折りだと感じましたか。	1	2	3	4	5
カ) 自分は価値のない人間だと感じましたか。	1	2	3	4	5

問8 この1年間に事件に関連すると思われること(事件による心身の不調や、刑事手続きなど)によってあなたの仕事や日常生活が行えなくなった日は何日ありましたか。

枠内におおよその日数をお答えください。

おおよそ

--	--	--

 日

◆ 被害による経済的な影響についておたずねします

問9 あなたは現在の自分の生活についてどのように感じていますか。(○は1つ)

裕福なほうだと思 う 1	← 2	どちらとも いえない 3	→ 4	生活にとっても 困っている 5
--------------------	--------	--------------------	--------	-----------------------

問10 あなたは、この1年間に、事件に関連して、以下に示すような給付や支給を受けましたか。受けたものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1	犯罪被害者等給付金の支給
2	自動車保険(自賠責保険を含む)の支給
3	生命保険の支給
4	労災保険(労働者災害補償保険)の支給
5	障害年金の給付
6	遺族年金の給付
7	奨学金など民間団体からの給付
8	生活保護
9	その他(具体的に:)

◆ 事件後から現在までの、生活の変化についておたずねします。

問 1 1 事件後、生活上の変化が起こることがよくあります。この1年間に、以下のような出来事がありましたか。それらの変化が事件と関連しているかどうかも含め、お答えください。

回答上の注意

- 経験した出来事については、「a 経験した」に○をつけてください。(○はいくつでも)
- 経験した出来事が事件と関係があっただけでなかった場合は、「b 事件と関連があると思う」のところに○をつけてください。(○はいくつでも)

		経験した (○はいくつ でも)	⇒ 経験した 出来事につ いて	事件と関連 があると思 う (○はいく つでも)
記入 例	学校または仕事を辞めた、変えた	○a	⇒	○b
	長期入院をした	a	⇒	b
ア)	学校または仕事を辞めた、変えた	a	⇒	b
イ)	学校または仕事をしばらく休んだ (休学、休職)	a	⇒	b
ウ)	長期に通院したり入院したりするやうなけがや病気をした	a	⇒	b
エ)	転居 (引越し) をした	a	⇒	b
オ)	自分が結婚した	a	⇒	b
カ)	自分が別居・離婚をした	a	⇒	b
キ)	自分に子どもが生まれた	a	⇒	b
ク)	同居している家族が結婚した	a	⇒	b
ケ)	同居している家族に子どもが生まれた	a	⇒	b
コ)	同居している家族の看護・介護が必要になった	a	⇒	b
サ)	家族が亡くなった	a	⇒	b
シ)	家族間の信頼が深まった	a	⇒	b
ス)	家族間で不和が起こった	a	⇒	b
セ)	学校や職場、地域の人々との関係が親密になった	a	⇒	b
ソ)	学校や職場、地域の人々との関係が悪化した	a	⇒	b
タ)	その他 (具体的に：)	a	⇒	b

問 1 2 事件直後と比較して、以下のような状況について、現在どのように変わりましたか。(それぞれ○は1つ)

	悪化した ↓問13へ	やや悪化した ↓問13へ	変わらない	少し回復した	回復した	おぼえていない、 わからない
1 身体的な状況	1	2	3	4	5	6
2 精神的な状況	1	2	3	4	5	6
3 経済的な状況	1	2	3	4	5	6



問 1 3 (問 1 2で「悪化した」「やや悪化した」とお答えになった方におたずねします。)
悪化した状況について、どのようなことで悪化したとお考えですか。
(それぞれ○は1つ)

	事件に関連する問題 によって悪化した	事件以外の出来事で 悪化した	わからない
1 身体的な状況	1	2	3
2 精神的な状況	1	2	3
3 経済的な状況	1	2	3

問 1 4 あなたは現在、事件によってこうむった被害から、ご自分がどのくらい回復したと感じていますか。1を「全く回復していない」、10は「もとどおり回復した」として、もっともあてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

全く回復していない			半分以上回復した				もとどおり回復した		
←									→
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

◆ あなたまたはご家族が受けた支援や使われた制度についておたずねします。

問 15 この１年間に、あなたまたはご家族はどのような支援を受け、どのような制度を使用しましたか。
そして、受けた支援や使った制度に対してどのくらい満足されましたか。以下のそれぞれの機関や団体からの支援や制度についてお答えください。

回答上の注意

- それぞれの支援・制度について、この１年間に受けた支援、使った支援には「a 受けた／使った」に○をつけてください。（○はいくつでも）
- 受けた支援や使った制度については、その支援や制度に対する満足度として一番近いものに○をつけてください。（それぞれ○は１つ）

		受けた／使った (○はいくつでも)	⇒ 受けた支援／ 使った制度について	受けた支援／使った制度に対して (それぞれ○は１つ)					
				満足しなかった	しな あ ま り 満 足 し な か っ た	い え な い	ど ち ら と も	やや満足した	満足した
記入例	加害者に関する情報の提供	a	⇒	1	2	3	4	5	
	相談・カウンセリング	a	⇒	1	2	3	4	5	
警 察									
ア)	事件発生直後からの付添い(各種捜査手続における補助、自宅への送迎、家族への連絡、病院への付添い等)	a	⇒	1	2	3	4	5	
イ)	「被害者の手引」による各種支援内容や刑事手続に関する情報提供	a	⇒	1	2	3	4	5	
ウ)	加害者に関する情報(捜査、検挙、処分状況)の提供(被害者連絡制度)	a	⇒	1	2	3	4	5	
エ)	地域警察官による被害者訪問・連絡活動	a	⇒	1	2	3	4	5	
オ)	相談・カウンセリング	a	⇒	1	2	3	4	5	
カ)	犯罪被害者給付制度	a	⇒	1	2	3	4	5	
キ)	身辺警戒やパトロール等による身の安全の確保(再被害防止)	a	⇒	1	2	3	4	5	
検察庁									
ク)	「被害者支援員」による法廷への付き添いや各種手続きの補助	a	⇒	1	2	3	4	5	
ケ)	「被害者ホットライン」による相談や問い合わせ	a	⇒	1	2	3	4	5	
コ)	公判期日、裁判結果等に関する情報提供(被害者等通知制度)	a	⇒	1	2	3	4	5	
サ)	冒頭陳述の内容を記載した書面の交付	a	⇒	1	2	3	4	5	

	受けた／使った (○はいくつでも)	⇒ 受けた 支援／ 使ったに ついて	受けた支援／使った制度に対して (それぞれ○は1つ)				
			満足し なかつた	あま り満足 しなかつた	い えな い	ど ち ら と も	満足 した
裁判制度							
シ) 刑事裁判における意見陳述等	a	⇒	1	2	3	4	5
ス) 優先的に裁判を傍聴できる制度	a	⇒	1	2	3	4	5
セ) 証人尋問でのビデオリンク・遮へい措置	a	⇒	1	2	3	4	5
ソ) 公判記録の閲覧・コピー(確定後も含む)	a	⇒	1	2	3	4	5
タ) 刑事和解制度	a	⇒	1	2	3	4	5
チ) 民事損害賠償請求制度(民事訴訟)	a	⇒	1	2	3	4	5
ツ) ADR(仲裁、調停、和解あっせん)	a	⇒	1	2	3	4	5
法テラス(民事法律扶助協会等含む)							
テ) 捜査や裁判に関する手続や制度の紹介	a	⇒	1	2	3	4	5
ト) 関係機関・団体の紹介	a	⇒	1	2	3	4	5
ナ) 被害者支援に精通している弁護士の紹介	a	⇒	1	2	3	4	5
ニ) 民事法律扶助(弁護費用等の援助)	a	⇒	1	2	3	4	5
弁護士会							
ヌ) 「犯罪被害者支援窓口」における相談	a	⇒	1	2	3	4	5
地方自治体・福祉機関・医療機関							
ネ) 犯罪被害者等のための「総合的対応窓口」における相談	a	⇒	1	2	3	4	5
ノ) 社会福祉制度(障害者福祉、生活保護等)	a	⇒	1	2	3	4	5
ハ) 公営住宅への優先入居	a	⇒	1	2	3	4	5
ヒ) ハローワークによる就労支援	a	⇒	1	2	3	4	5
フ) 医療保険制度(健康保険、国民健康保険等)	a	⇒	1	2	3	4	5
学校・職場							
ヘ) スクールカウンセラーや教職員による心のケア・転校などの配慮	a	⇒	1	2	3	4	5
ホ) 休暇の取得など職場における配慮	a	⇒	1	2	3	4	5
民間支援団体・被害者団体・自助グループ							
マ) 電話やFAX、面接、メール等による相談	a	⇒	1	2	3	4	5
ミ) 家事や家族の世話、育児などの支援	a	⇒	1	2	3	4	5
ム) 関係機関・団体の紹介	a	⇒	1	2	3	4	5
メ) 警察、病院、公判への付き添い	a	⇒	1	2	3	4	5
モ) 司法制度や行政手続の説明、手続補助	a	⇒	1	2	3	4	5
ヤ) 自助グループへの参加	a	⇒	1	2	3	4	5